

報告書の趣旨

愛知県がん対策推進条例（以下、「条例」という。）は、平成 24 年 10 月、がん対策に関する県の責務等を明らかにするとともに、がんの予防及び早期発見の推進、がん医療の充実その他のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がん対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進することなどを目的として制定されました。

同条例第 16 条第 2 項では、「県は、毎年、がん対策に関する施策の実施状況に関する報告書を作成し、これを公表するものとする。」と定めており、この規定に基づき、平成 30 年度のがん対策に関する施策の実施状況をとりまとめました。

なお、愛知県のがん対策は、愛知県がん対策推進計画に基づき実施しており、平成 30 年度は、第 3 期愛知県がん対策推進計画（平成 30 年 3 月作成）の実施初年度になります。

I がん対策に関する施策実施状況の概要

1 がんの予防・がん検診による早期発見の推進

(1) がん検診普及啓発

市町村、企業等と連携し、「がん検診受診促進キャンペーン月間（10月）」を中心にポスターを配布し、街頭啓発を行う等、広くがんの予防やがん検診の普及啓発を実施しました。

① ピンクリボン街頭啓発キャンペーン

日時：平成30年10月11日（木）午前9時

場所：桜通大津付近

内容：東京海上日動あんしん生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社の職員と共同で通勤途中の県民にがん検診啓発グッズを配布



街頭啓発



乳がんセルフチェックシート

② がん検診啓発ポスターの作成

これまで作成していたキャンペーンポスターの他に、新たに女性向け、働く世代向けにもポスターを作成しました。

ア がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間ポスター

作成部数：1,000部

配布先：連携企業（イオン、ユニー、スギヤマ薬品等）店舗、鉄道会社、市町村等

イ 女性向けポスター（子宮頸がん検診、乳がん検診啓発）

作成部数：1,200部

配布先：大学、PTA、市町村等

ウ 働く世代向けポスター

作成部数：2,000部

配布先：企業、市町村等

ア キャンペーン月間ポスター



イ 女性向けポスター



ウ 働く世代向けポスター



③ 啓発グッズの作成

これまで作成していたウエットティッシュや絆創膏の他に、女性や働く世代が活用しやすいあぶらとり紙及びスマホクリーナーを新たに作成し、がん検診の普及啓発を行いました。

ア 女性向け啓発グッズ（あぶらとり紙）

作成部数：5,000部

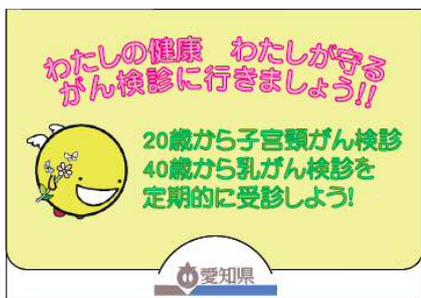
配布先：大学、連携企業、PTA等

イ 働く世代向け啓発グッズ（スマホクリーナー）

作成部数：7,000部

配布先：企業等

ア あぶらとり紙



イ スマホクリーナー



(2) がん検診の精度管理の向上

① がん検診従事者講習事業

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を目的とした講習会を開催しました。また、平成 28 年度から新たに胃内視鏡検査が国のがん検診の指針に追加されたため、がん検診の胃内視鏡検査に従事する医師に対する研修を開催しました。

ア 各種がん検診従事者講習会の開催

大腸がん検診従事者講習会、胃がん検診従事者講習会、乳がん検診従事者講習会、細胞診従事者講習会に係る従事者講習会を開催しました。なお、各講習会において、愛知県におけるがん検診の精度管理の取組についても講義を行いました。

(各 1 回、いずれも平成 31 年 2 月から 3 月に実施)

イ 胃内視鏡検診従事者研修会の開催

開催日：平成 30 年 12 月 22 日（土）

参加者：86 名

対象者：市町村における胃がん検診の内視鏡検査に従事する医師または市町村がん検診担当者

内 容：胃内視鏡検査の実施にあたり適切な体制を構築するため、胃内視鏡検査を実施するための留意点や偶発性対策に係る研修会を実施。なお、先進市である浜松市の取組も講義。

② がん検診精度管理委員会の開催

前年度の市町村がん検診の実施結果やプロセス指標改善のための取組状況等を調査・集計し、専門家で構成する委員会での分析・検討を経て、市町村への統計情報の提供や技術的助言を実施しました。

ア 肺がん検診精度管理委員会 開催日：平成 30 年 12 月 3 日（月）

イ 子宮がん検診精度管理委員会 開催日：平成 30 年 12 月 13 日（木）

ウ 胃がん・大腸がん検診精度管理委員会 開催日：平成 30 年 12 月 17 日（月）

エ 乳がん検診精度管理委員会 開催日：平成 30 年 12 月 26 日（月）

2 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進

(1) がん治療の推進

① がん診療連携拠点病院等の指定

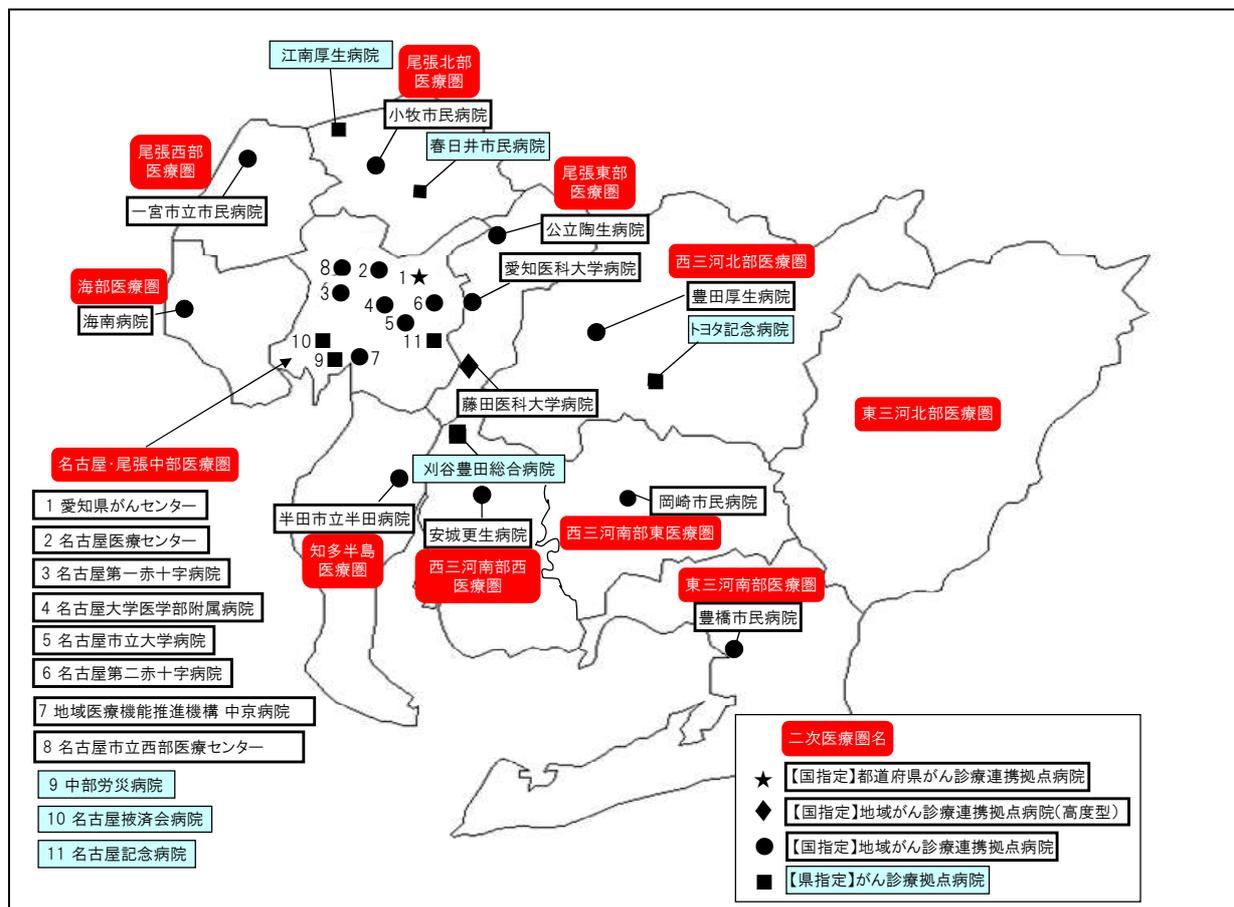
愛知県では、国が指定する「がん診療連携拠点病院」と県が指定する「がん診療拠点病院」を中心に地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っています。

いずれも指定期間は4年間で、平成31年3月末で指定期間が満了することから、平成30年度は新たな指定及び更新の事務手続きを行いました。

がん診療連携拠点病院の候補病院を国へ推薦し、新規（名古屋市立西部医療センター、愛知医科大学病院、岡崎市民病院）を含め、すべての推薦病院が国指定に認められ、愛知県における国指定のがん診療連携拠点病院は17か所から19か所に増加しました。

また、今回新たに「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」という区分ができ、新規として「藤田医科大学病院」が指定されました。都道府県がん診療連携拠点病院として指定更新を認められた「愛知県がんセンター」とともに、高度な技術、機能、人員体制で愛知県のがん診療の中核として役割を果たすことが期待されます。

【愛知県内のがん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院（平成31年4月1日現在）】



県指定のがん診療拠点病院については、新規指定病院はなく、既指定の7か所の病院を指定更新しました。

拠点病院が有すべき機能、各病院の診療実績及び県計画の目標の達成状況については、国指定の拠点病院は平成27年度から、県指定の拠点病院は平成28年度から毎年ホームページに掲載しています。

【掲載した情報】

- ・拠点病院の主な指定要件（診療機能、医療施設、人員配置等）に関する説明
- ・がん診療連携拠点病院の診療実績（院内がん登録、手術、放射線治療、薬物療法等の実績）
- ・愛知県がん対策推進計画において目標数値としている診療報酬に係る施設基準（緩和ケア診療加算等）、医療従事者の配置（がん薬物療法専門医）等の達成状況

② がん診療連携拠点病院等の取組

都道府県がん診療連携拠点病院である愛知県がんセンターにおいて愛知県がん診療連携協議会を開催する等、様々な取組を行っています。

③ がん診療連携拠点病院に対する補助事業

がん診療連携拠点病院に対する補助事業を実施し、がん相談支援事業や医療従事者に対する研修などの取組を促進しました。

【がん診療連携拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の実績】

実施病院数：28病院（開催回数：37回）

受講者：817名

④ 陽子線治療の講演会の開催

痛みがなく、身体への負担が少ない、放射線治療の選択肢の一つとして注目される陽子線治療について、名古屋陽子線治療センターの医師等を講師に招き、県民に広く周知するため講演会を実施しました。

開催日：平成31年1月26日（土）

場所：小牧市民病院

対象者：一般県民

参加者：53名

3 子どもから高齢者までライフステージに応じたがん対策の推進

(1) がん教育の充実支援のための取組

① がん専門医等による中学生向けのモデル講座の開催

県教育委員会を支援するため、中学生ががんに対する正しい知識等を学べるよう、応募のあった4校において、医師によるモデル講座を実施し、がんの罹患、死亡等の現状、がんの原因、生活習慣とがん、がん予防、早期発見、治療についての知識を伝えました。また、生徒から家族に内容が伝わるよう啓発物を配布しました。

<第1回>

場 所：一宮市立大和中学校

日 時：平成30年6月26日（火）

参加者：558名



<第2回>

場 所：碧南市立南中学校

日 時：平成30年7月12日（木）

参加者：197名

<第3回>

場 所：常滑市立常滑中学校

日 時：平成30年11月7日（水）

参加者：480名

<第4回>

場 所：蒲郡市立蒲郡中学校

日 時：平成30年12月7日（金）

参加者：490名

※管内の教員や県保健所職員、市町村保健センター職員等も参加

② がん教育研修会

教員が自ら、または保健師等が外部講師としてがん教育を行えるよう、がん教育の研修会を実施しました。

開催日：平成30年8月21日（火）

場 所：西三河総合庁舎

参加者：145名

内 容：がん教育の動向、がん教育に必要ながんの知識、学校におけるがん教育
 (道徳からのがん教育の推進) 等

対象者：県内の教育関係者、医師、看護師、保健師等

③ 中学生向け「がん教育リーフレット」の県ホームページへの掲載

中学校の保健体育の教科学習等において活用していただく目的で作成した「がん教育リーフレット」及び教員向けの指導参考用解説書を県のホームページへ掲載し、周知しました。

愛知の中学生向け「がん教育リーフレット」
がんについて学ぼう！

皆さんは、がんについてどんなイメージを持っていますか？ また、知っていることはありますか？
 学習の前に自由に書いてみましょう。

1. 「がん」はどんな病気？

現在日本では、年間約36万人ががんで亡くなっており、死亡原因の第1位となっています。愛知県でも、昭和55年(1980年)以降、がんは県民の死亡原因の第1位です。日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなるといわれており、**がんは私たちにとって身近な病気**です。

【死亡の原因(全国)】

【愛知県の死因別死亡率の推移】

【がんができる仕組みを知ろう！】

私たちの体は、多くの細胞からできています。細胞は毎日細胞分裂をして、新しい細胞を作っていますが、細胞の遺伝子に傷がつき、異常な細胞ができることがあります(細胞のミスコピー)。

がん細胞ができて、免疫細胞ががん細胞を取り除いてくれますが、免疫細胞に見逃されたがん細胞が増え続けると「がん」になります。

「がん」は、できた部位にとどまらず、体の正常な部分や血管の中に入り込み、広がっていきます(転移)。

細胞のミスコピーは誰の体でもおこるので、誰でもがんになる可能性があります。

出典：国立がん研究センターがん対策情報センター

【主ながんについて知ろう！】

がんは、一般的には発生した臓器や組織による分類などから名称が決まります。日本人に多いがんは、下の図に示すがんです。また、右の円グラフに示すように、男女によって、かかる人が多いがんは異なります。

【男性の部位別罹患割合】 n=25,518

【女性の部位別罹患割合】 n=17,926

出典：愛知県がん登録(1423)

【がんの原因を知ろう！】

○がんにしやすい年齢
 人間は老化すると、細胞のミスコピーを起こしやすくなるため、多くのがんは、40歳代から多くなり、年齢が上がるにつれて増えていきます。ただし、若い世代が全くならないわけではありません。

○がんになるリスクを高める原因
 がんの研究が進み、がんになるリスクを高める原因が科学的に証明されるようになっていきます。でも、**がんが発生する原因はひとつではなく、さまざまな原因が長い年月にわたって関係していると考えられています。**

①生活習慣
 喫煙、多量の飲酒、運動不足(大腸がん)、塩分の多量摂取(胃がん)など
 ※喫煙と多量の飲酒は、多くのがんの原因となります。
 特に、たばこの「肺がん」への影響は大きく、たばこを吸う人のがんになる確率は、吸わない人に比べ、男性で約4倍、女性で約3倍高まります。

②細菌・ウイルスの感染
 ヘルピクター・ピロリ菌(胃がん)
 ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん)
 B型、C型肝炎ウイルス(肝臓がん)

③発がん性の物質
 放射線、アスベストなど

④遺伝性のがん
 部位によって異なりますが、全体のがんの1%~5%程度、遺伝性のがんがあることが分かっています。

(がん教育リーフレット)

(2) 女性に特有のがんに係るがん対策

「女性特有のがん対策専門会議（平成 25 年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体と連携した講演会やイベントの開催による啓発活動や、女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を実施しました。

① 名古屋ピンクリボンフェスタ 2018 in ナナちゃんストリート

名古屋ピンクリボンフェスタ実行委員会と共催し、名古屋駅前で啓発イベントを開催しました。

開催日：平成 30 年 10 月 21 日（日）

場 所：名古屋駅 ナナちゃん人形周辺

ゲスト：矢方美紀（元 S K E 48）

内 容：タレントの矢方美紀氏（元 S K E 48）のトークショーなどを通して、乳がんと乳がん検診についての理解を深める啓発イベントを開催。



② 大学等と連携した子宮頸がんに関する講演会の開催

ア 愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学

開催日：平成 30 年 10 月 4 日（木）

参加者：学生、教職員等 90 名

イ 愛知県立大学

開催日：平成 30 年 11 月 28 日（水）

参加者：学生、教職員等 71 名

③ P T A 会員や女子学生等を対象に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布

④ 受診の際に参考となる医療機関の情報や女性特有のがんに関する情報を県ホームページに掲載

掲載機関数（平成 30 年 6 月現在）：213 か所

⑤ 県ホームページ掲載医療機関に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットを配布し、活用を依頼

(3) 小児がん対策

小児がん患者の就学支援のため、がん診療連携拠点病院等の看護師等と院内学級や前籍校で病気療養児の教育に携わる教員等による情報交換や事例検討を行うため、病気療養児の就学支援に関する研修会を開催しました。

開催日：平成 30 年 8 月 9 日（木）

場 所：愛知県産業労働センターウインクあいち

講 師：大府特別支援学校教諭、小児科医

参加者：25 名

(4) 働く世代のがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成 25～26 年度開催）」による提言（平成 27 年 3 月）を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんにも罹っても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施しました。

① 働く世代のがん対策講演会の開催

ア 企業との連携による講演会（企業名：株式会社デンソー）

開催日：平成 31 年 1 月 22 日（火）

参加者：従業員 130 名

内 容：がんの予防、早期発見や治療と就労の両立をテーマとしたがん専門医やがん治療経験者による講演

イ 市町村との連携による講演会

開催日：平成 31 年 3 月 20 日（水）

参加者：市町村職員等 41 名

内 容：治療と仕事の両立支援をテーマとした労働福祉担当や医師による講演

② 「あいち地域両立支援推進チーム会議」の参画

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援のための取組の促進が図られるよう、地域の関係機関及び関係者により構成された「あいち地域両立支援推進チーム会議」に参画し、連携を図りました。

開 催 日：平成 30 年 9 月 26 日（水）

チーム構成：愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、愛知県社会保険労務士会、全国健康保険協会愛知支部、愛知産業保健総合支援センター、愛知県（産業労働部、健康福祉部）、名古屋市等

事 務 局：愛知労働局労働基準部健康課

4 みんなで支え合い、がんになってもがん患者や家族が安心して暮らせる社会の実現

(1) がん患者・家族に対する相談支援

① ピア・サポーター養成事業（新規事業）

ピア・サポート活動を周知するための講演会と、ピア・サポート活動に必要な知識や対話技術を学ぶ「ピア・サポーター養成研修」を患者団体に委託して開催しました。

委託先：NPO法人ミーネット（企画コンペにより選定）

ア 講演会

開催日：平成30年10月20日（土）

参加者：170名

場 所：ウインクあいち

内 容：がん専門医やがん治療経験者
による講演、ピア・サポート
活動の紹介



イ ピア・サポーター養成研修（計4回）

開催日：平成30年11月24日（土）、12月8日（土）

平成31年1月26日（土）、2月23日（土）

参加者：40名

場 所：ウインクあいち

内 容：がん医療の基礎知識、がんのピア・サポートとは、ピア・サポートの
ルールとマナー、対応技法（積極傾聴・応酬話法）、模擬相談等

② がん患者・家族に関する電話相談

がん治療経験者によるがん患者・家族の悩みや疑問に対する電話相談を患者支援団体に委託して実施しました。

ア 電話相談事業

市町村に広報掲載を依頼する等、県民に事業を広く周知

実施日数：60日

利用者数（平成30年4月～平成31年3月）：254名

（前年比149%、前年実績170名）

(2) がん患者・家族に対する情報提供

「がん相談支援センター」を始めとする様々な相談窓口や医療費等の制度をまとめた「がん患者サポートブック」を毎年作成するとともに、簡易版のリーフレットを作成しました。

① あいちのがんサポートブック（A5版）

発行時期：平成31年1月

作成部数：7,500部

② リーフレット（A4版、4ページ）

発行時期：平成31年1月

作成部数：18,000部

① サポートブック



② リーフレット



(3) 「がん相談支援センター」との連携

地域の医療機関等の関係者に対し、がん診療連携拠点病院等に設置している「がん相談支援センター」の周知及び利用促進を図るための講演会を開催しました。

開催日：平成31年3月8日（金）

参加者：125名

場 所：愛知県がんセンター中央病院 国際医学交流センターメインホール

内 容：がんの現状、愛知県がん対策推進計画、がん相談支援センターの概要、相談事例等

(4) がん罹患状況等の把握・分析

がんの診断治療に関する情報を医療機関から収集して、県民のがんの罹患状況を把握し、がん対策やがん研究の基礎資料とするとともに、結果を医療機関や県民に情報提供しました。

① 地域がん登録事業

県民のがん罹患状況を把握する地域がん登録を引き続き実施し、平成27年分のがん罹患データを算出・公表しました。平成27年に愛知県在住で新たになんと診断された数は45,112件（延べ件数：男性26,121件、女性18,991件）となりました。

② 「愛知県のがんの状況」の県ホームページへの掲載

がん登録情報を利用し、より一層、県民にわかりやすく内容をまとめ、県ホームページへ掲載しました。

愛知県のがんの状況

がんは死因の第1位！！

日本人のおよそ2人に1人ががんにかかり、5人に1人はがんで亡くなると言われています。

愛知県においても、1981年以降、がん（悪性新生物）は、死因の第1位を占めており、脳血管疾患や心疾患等が減少又は横ばい傾向なのに対し、大きく増加傾向を示しています（図1）。

30年以上の間、死因の第1位を占めているうえに、年々増加しているんだね

図1 愛知県における全業死因別死亡率の推移

2015年、愛知県において、男性11,328人、女性7,583人、合計18,911人の方ががんを原因として亡くなりました。

部位別みると、男性では肺がんが最も多く、次いで、胃がん、膵臓がん、女性で最も多いのは肺がん、次いで、膵臓がん、胃がんとなっています（図2）。

愛知県でかかる方が多いがんは？

2015年に男性延べ26,121件、女性延べ18,991件、合計45,112件のがんが、新たに診断されました。

男性では前立腺がんが最も多く、次いで、肺がん、胃がん、女性で最も多いのは乳がん、次いで、膵臓がん、肺がんとなっています（図3）。

図3 愛知県における部位別がん罹患割合（2015年新診断例）

2015年、愛知県において、部位別がん死亡割合（2015年）

図2 愛知県における部位別がん死亡割合（2015年）

図4 全な部位別がん年齢調整罹患率（人口10万対）

図5 全な部位別がん年齢調整死亡率（人口10万対）

愛知県の罹患率・死亡率を全国と比較すると？

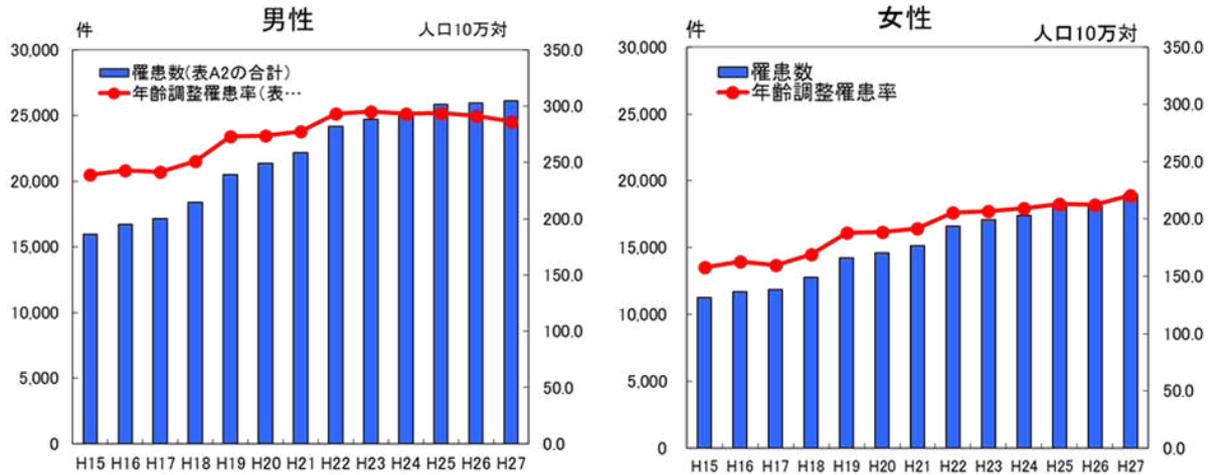
部位別がん年齢調整罹患率[※]を全国と比べると、男性の前立腺、女性の大腸（結腸・直腸）以外の部位において、男女ともほぼ同等か近い傾向にあります（図4）。

また、部位別がん年齢調整死亡率[※]を、全国と比較するとほぼ同等ですが、男性の肺においてやや高い傾向がみられます（図5）。

※年齢調整罹患率・年齢調整死亡率
 がんの罹患率・死亡率は年齢により異なるので、年齢構成が異なる地域間で比較したり、年ごとの変化を見たりする際には、基準となる年齢構成を用いて算出した年齢調整罹患率・年齢調整死亡率を用います。
 ※人口10万対
 人口10万人に対する罹患数・死亡数

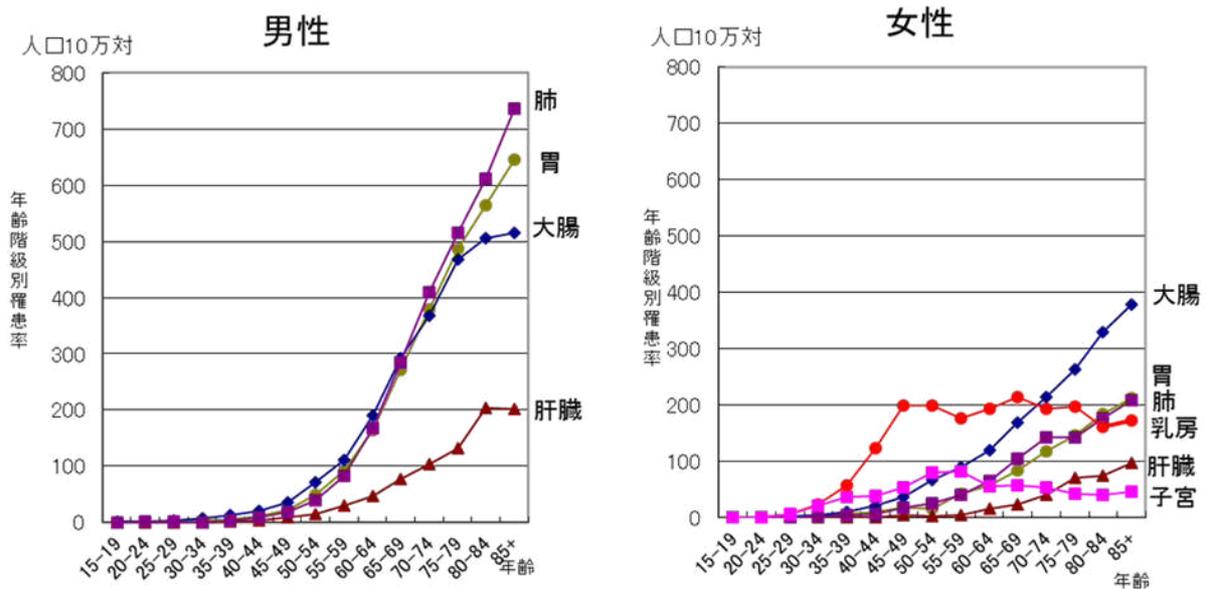
■がん罹患数・罹患率の推移（平成 15 年から平成 27 年）

がん罹患数は、引き続き増加傾向にあります。近年は増加傾向が鈍化しています。



■部位別・年齢階級別罹患率（人口 10 万対、平成 27 年罹患分）

年齢階級別に罹患率を見ると、男性では大腸がんが 40-64 歳の各年齢階級で部位別罹患率の第 1 位となっており、80 歳以上では肺がんが第 1 位となっています。女性では乳がんが 30-69 歳の各年齢階級で部位別罹患率の第 1 位となっており、70 歳以上では大腸がんが第 1 位となっています。



③ 愛知県がん登録情報利用等審議会の開催

平成 31 年 1 月から研究者等に対し全国がん登録のデータ提供が行われることから、有識者による「愛知県がん登録情報利用等審議会」を開催し、情報提供を行う際の利用の手続きや審査方法等の事務処理要領等を制定しました。

II がん対策に関する施策の実施状況に係る進行管理について

本県では、関係団体並びに有識者等によって構成される「愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会」を開催し、条例に基づき策定した「愛知県がん対策推進計画」の目標達成状況や取組状況等を適宜報告し、評価することにより、計画の進行管理を行うこととしています。

下記のとおり同部会を開催し、県当局から平成30年度の目標達成状況、施策実施状況及び今後の取組の方向性案について報告し、ご意見をいただきました。

○ 開催日

平成31年2月1日（金） 午後2時～4時

○ 構成員

所属・職名	氏名
名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授	明智 龍男
名古屋大学医学部附属病院化学療法部 教授	安藤 雄一
常滑市福祉部健康推進課 課長	入山 佳代子
東浦町健康福祉部健康課 課長	内田 由紀子
がん治療体験者（AYA世代（思春期世代と若年成人世代）代表）	加藤 那津
愛知県小中学校長会 庶務理事	加藤 博之
愛知県がんセンター中央病院 副院長兼看護部長	亀島 里美
愛知県病院事業庁長	木下 平
一般社団法人愛知県歯科医師会 副会長	梶村 豊彦
名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 教授	高橋 義行
公益社団法人愛知県医師会 理事	田那村 収
愛知県がんセンター中央病院 院長	丹羽 康正
NPO法人ミーネット 理事長	花井 美紀
藤田医科大学医学部放射線腫瘍科 教授	林 真也
愛知県がんセンター中央病院 副院長兼呼吸器内科部長	樋田 豊明
国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター長	堀部 敬三
愛知県がんセンター研究所 がん予防研究分野長	松尾 恵太郎
衣浦東部保健所長	丸山 晋二
愛知県中小企業団体中央会 総務部長	水越 昭雄